

## JR 連合グループ労組連絡会 2026春闘決起集会を開催

**定期昇給の確保・12,000円以上の統一ベアにより、  
月例賃金総額 18,000円以上要求することを決定する！**



海上幹事

2月10日、大阪市内において開催され、JR貨物連合より3名が出席しました。

グループ労組連絡会を代表して挨拶に立った海上代表幹事は「物価上昇が著しく、物価上昇率は2.4%だが、実感としてはそれ以上を感じている。人材確保・定着のためにも構造的な賃上げ持続が必要であり、グループ全体のうねり

りとしていきたい」と、力強く訴え、JR連合執行部を代表して挨拶に立った上村会長は「続発している不安全事故・重大労災に対して、命を守る取り組みを強く願います。昨年の春闘では大幅な賃上げがあり、今春闘において経営者は賃上げに慎重になってくると思うが、グループ労組89単組 ONE TEAM となり積極的に取り組んでほしい」と、訴えました。

続いて、JR連合住吉局長より、JR連合2026春闘方針を提起し、各分科会からの決意表明では、陸運分科会を代表してJR貨物連合・南関東ロジ労組諏訪委員が壇上に立ち、「輸送障害等により貨物列車のダイヤは日々乱れており、現場では要員不足が顕著なため、長時間労働を余儀なくされており、要員確保を強く訴え、安全最優先の取り組みを強化していく。女性組合員が一人在籍しているが、労働環境が整備されておらず辛い思いをさせている。女性が働きやすい環境を早期につくり上げていきたい。2027年にアボルール改定があり、JR連合のお力添えをお願いし、JR連合春闘方針に賛同の立場で、満額回答を目指し今春闘を闘っていく」と、力強く決意を述べられました。

その後、集会アピールを採択し、海上代表幹事による「団結ガンバロー」で、集会を終えました。



上村会長



諏訪委員